

心からの感謝とともに ありがとう10年！
第10回白石城下きものまつり



10月18日～20日の3日間、「第10回白石城下きものまつり」(白石まちづくり株式会社主催)が壽丸屋敷とすまゐるひろばで開催されました。壽丸屋敷ではアンティーク着物や古布をつかった作品の展示販売、着物の着付けなどを開催。すまゐる広場では、着物ファッションショーやテントきもの市、県北部のカップルによる古式ゆかしい和装の花嫁行列などが行われました。

着物姿の来場者には、市内の協賛店で使える600円分の商品券が贈られるなど多彩なイベントが行われ、訪れた人たちは、大人も子どもも、男性も女性も、多くの方が色とりどりのお気に入りの着物に身を包み、着物を通して世代を超えたコミュニケーションを楽しんでいました。



1_花嫁行列に参加した来年4月に挙式する「白石ファン」だという県北部のカップル。紅白もちまきも行われ来場者から祝福の拍手が送られた 2_我家のお宝きもの展 3_テントきもの市。着物を着たかわいい子どもたちの姿も 4_期間中計4回、約150人が出演した着物ファッションショー。お気に入りの着物で決めポーズ！

朱や黄に色づく材木岩公園で 秋を感じながらまつりを楽しむ
第11回秋の検断屋敷まつり



1_取り出したピンポン玉と同じ数のリンゴがプレゼントされるつかみ取り大会 2_恒例のリンゴ皮むき大会。参加者は数々の催しを楽しみながら秋の小原を満喫！

11月10日、「第11回秋の検断屋敷まつり」が材木岩公園で開催されました。まつりを主催する「検断屋敷まつり実行委員会」のキャッチフレーズは、「みんなと仲良く笑顔で活性化」！この言葉の通り、おそろいのスタッフジャンパーを着た小原地区の皆さんは、おもてなしの心で観光客をお出迎え。まつりでは、特産品のりんごの皮むき大会やつかみ取り大会、ウッドボウリング大会、小原の伝統紙芝居の上演、もちまきなどが行われ、訪れた人たちは、紅葉の材木岩公園と旬の味覚を満喫していました。

地区の名誉をかけ全力勝負！ 地区民間の交流を深める
第85回白石市民体育大会



10月13日、「第85回白石市民体育大会」が白石川緑地陸上競技場で開催されました。秋晴れに恵まれた今年の大会は、前年優勝地区の旭町、佐藤恵一さんと箱崎響さんが「7年後の東京オリンピックに、この中から1人でも多く出場できるよう頑張ります！」と会場を沸かせる選手宣誓を行いスタート。恒例の市内保育園・幼稚園児による「白石うーめん体操」が行われた後、釣りもの競走や玉入れ、パン食い競争、綱引き、長縄跳び、デカパン競争、200歳リレーなど多様な競技で熱戦が繰り広げられました。

地区の威信をかけた戦いは、柳町が2年ぶりの総合優勝。昨年に引き続き、西益岡が準優勝、鷹巣が3位となりました。約1,500人が参加した今年の大会。どの地区も自分が参加しない競技でも、大きな声で声援をおくるなど、地区民間の交流を深めていました。



1_デカパン競争 2_綱引き 3_釣りもの競走 4_競技で勝利し喜ぶ参加者たち 5_総合優勝の「柳町」 6_玉入れ